

6月議会

6月定例倉敷市議会で、日本共産党議員団は全員が質問し、命とくらし、福祉を守れと主張して奮闘しました。

今議会では、2012年度一般会計補正予算案(16億4,100万円増)、条例案など45議案を議決しました。一般会計予算の内訳は、幼稚園・保育園園舎および小中学校校舎の耐震化事業に4億1,700万円、児島武道館建替え事業に1億4,900万円、真備東中学校武道場及び船穂中学校武道場新築事業に1億6,800万円などです。不正入札の防止を求めてきましたが、公共事業の入札制度の改善が6月から実施となりました。落札率が95%以上を高落札率入札として「調査の対象」としていましたが、「95%未満でも必要に応じて調査する」と改善しました。市発注工事に加わり、入札の指名停止期間を最長12ヵ月から36ヵ月まで拡大しました。



耐震化が遅れている中島幼稚園を視察する(左から)末田、大本、田辺、田儀の各市議と住寄氏

耐震化は保育所だけ?

老人と障害者を忘れた市長答弁

遅れている耐震化問題で、障害者福祉施設(ふじ園・くすのき園)、老人福祉センター(有城荘・西岡荘・まきび荘)、養護老人ホーム(琴浦園・長楽荘)の早急な着手を求めました。ところが伊東香織市長は、これには答えず、「今後順次保育所の耐震化を進めていくと、社会福祉施設の耐震化は78%になる」と答えました。日本共産党議員団は老人や障害者

のいのちを守れと質問しましたが、老人と障害者を忘れ、福祉施設全体の耐震化率を上げることをばかりを重要視した市長の答弁に、官僚的体質がにじみ出ていました。先の2月議会で、党市議団は「公立の社会施設の耐震化率は、倉敷市は中核市(40市)の中で最低だ。福祉施設には自力で避難することができない人もいます」と早急な対策を求めていました。

強引に倉敷駅鉄道高架事業

中心市街地のまちづくりに矛盾

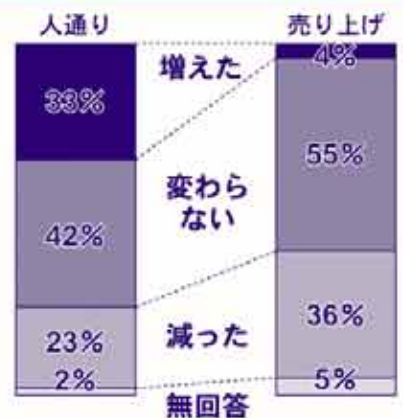
伊東市長は「選挙でJR倉敷駅鉄道高架事業を推進してほしいという民意が示された、任期中の着工をめざす」と繰り返しています。事業費は600億円ともいわれています。

今、倉敷駅周辺では駅東区画整理事業38億円、駅西の第二区画整理事業166億円、中心市街地活性化事業40億円かけた事業が進められています。

しかし、区画整理事業では「住民無視」との批判、鉄道高架では「必要な事業なのか、あてのない計画でまちづくりが遅れている」と疑問視されています。

市の商店街調査では、来街者が減少した理由に「近郊の大型店の進出」が70.6%を占めています。駅南商店主アンケートでは「売り上げが減った」が過半数でした。

駅北大型施設の影響 - 駅南商店主アンケート -



「倉敷のまちづくりを考える会」調べ

日本共産党
倉敷市議会議員



大本芳子

よしこの微笑ブログ
<http://yosiko.net>



田辺昭夫

あきおの日記
<http://moon.ap.teacup.com/1021/>



田儀公夫

はるかぜ日記
<http://tagi.typepad.jp/blog/>



末田正彦

活動日誌
<http://kct.ne.jp/~jbeans>

お寄せください

- ・お困りごと、相談事
- ・市政や党へのご意見

日本共産党倉敷市議会議員団
TEL: 426-3767
FAX: 422-7250
ホームページ:
<http://jcpk.sakura.ne.jp/dan/>
メールアドレス:
kyosanto@kurashiki-shigikai.jp

6月議会の特徴と一般質問

市長選（4月）後の最初の6月定例議会では、市長の政治姿勢が問われました。「社会福祉施設の耐震化率は全国最低」と報道された幼稚園・保育園の園舎耐震化は、一部耐震診

断の予算は計上されましたが、全体計画は不明です。市民合意の得られていない「JR倉敷駅付近連続立体交差事業」を強引に推し進めようとする姿勢を追及しました。



4人の市議の主な質問と答弁を紹介します

消防局長の天下り？ 「信頼回復に努力」と答弁

水島コンビナート地区保安防災協議会の相談役に歴代消防局長OBが就任し、前の水島消防署長がJX日鉱日石に再就職している問題で、「天下りだ。企業と消防との間に何かあるのか？ コンビナート事故に消防が甘いのはそのせい？」との声が聞かれている問題を大本芳子議員が質問しました。片山龍三消防局長は「消防の信頼回復のため努力する」と答えました。

放射能汚染から学校給食を守れ

放射能汚染から学校給食を守ってほしいと、市議会に「食材の放射性物質検査を求める陳情」が出され、末田正彦議員が対策を求めました。吉田雄平教育長は「従来より地産地消を推進している。文科省の事業として県内2市において、学校給食の食材について放射性物質の有無や量を把握する事業が実施される。情報収集を行ない、安全な給食の提供に努めたい」と答えました。

「保育所待機児童ゼロ」の計画示せず

伊東市長は、市長選で「保育所待機児童ゼロをめざす」と公約し、選挙後、「来年秋頃、90人定員2園を建設する」としましたが、待機児童ゼロ計画を示せませんでした。田儀公夫議員は「この4月、443人が入所できなかった。定員外の入所者は494人で、合わせると937人。100人定員の保育所が10カ所必要になる」と指摘しました。伊東市長は「これからの児童の数が定かでない」といいわけしました。

高齢者・障がい者に 「ふれあい収集」を

高齢者や障がい者には、自分でゴミステーションまでゴミをもっていけない人がいます。

全国の自治体では、ゴミを収集する「ふれあい収集」を実施しているところがたくさんあります。田辺昭夫市議は、倉敷市でも導入すべきだと訴えました。物部健二環境リサイクル局長は「関係機関と協議を進めている」とのべました。

傍聴席

倉敷市が「本田実生誕100年事業」に着手するとの報せに喜んでいます。田辺昭夫議員の質問（6月15日）に、吉田雄平教育長が「事業において関係者と協議したい」と答弁しました。来年2

月26日が、倉敷天文台で活躍し、生涯にすい星12個新星11個を発見、名誉市民となられた本田氏の生誕100年にあたります。大いに期待しています。（星尋山荘管理人・大野智久）

2012年6月議会 議案に対する各会派の態度

議案	日本共産党市議団の態度と理由	他の会派の態度					結果		
		自	青	公	新	清		天	
倉敷市市税条例の改正	①個人市県民税均等割の増税（1人年額1,000円の値上げ）、 ②退職所得にかかる10%税額控除廃止に伴う増税	×	○	○	○	○	○	可決	
年金受給資格期間の10年への短縮を求める意見書の提出	無年金者を多くしている原因の一つである長すぎる年金受給資格期間の短縮を求めるもの	○	×	×	○	×	×	×	不採択
0.4%の年金引き下げをもとに戻すとともに、物価指数による年金引き下げを行わないことを求める意見書の提出	高齢者の生活実態とかけ離れた物価指数に基づく年金額の引き下げは認められないことから	○	×	×	×	×	×	×	不採択

自：自由民主クラブ、青：青空市民クラブ、公：公明党倉敷市議団、新：新政クラブ、清：清風会、天：天領政和会